

# SAPPORO 教区 NEWS 第34号

発行：カトリック札幌司教区事務局広報部  
〒060-0031 札幌市中央区北1条東6丁目10

Tel.011-241-2785 / ホームページ：http://www.csd.or.jp

2021年7月31日

## 訃報 前札幌教区長 ペトロ地主敏夫名誉司教が帰天



### 【 ペトロ地主敏夫名誉司教略歴 】

1930年 9月20日	北海道札幌市に生まれる
1934年 9月16日	北一条教会で受洗
1960年 3月20日	カトリック北一条教会で司祭叙階 北二六条教会助任
1961年～1969年	司教館付司教秘書、教区事務局長
1969年～1978年	ローマ留学
1978年～1987年	円山教会主任、さゆり幼稚園園長
1987年10月 3日	札幌教区長（司教）に任命される
1988年 1月15日	司教に叙階される
2009年11月17日	司教の辞任が受理される
2021年 3月12日	治療のため札幌厚生病院に入院
2021年 5月 4日	帰天

上：2020年自室にて。  
生前ご自身が希望し  
撮られた写真。

右：2013年2月。  
司教様は晩年も精力的  
に除雪に取り組まれた。  
撮影を恥ずかしがる  
司教様の貴重な一枚。  
いずれも土生誠氏撮影



2021年5月4日にペトロ地主敏夫名誉司教が入院先の札幌厚生病院にて90年の生涯を終え帰天された。

地主司教は3月に腹痛を訴え病院に向かわれた。持病であった腸ヘルニア治療のためにその後入院していたが、誤嚥性肺炎なども数度繰り返し、体力の低下により5月4日に入院先の札幌厚生病院にて老衰により死去した。享年90歳。

葬儀ミサ告別式は、5月8日に勝谷太治司教の司式のもと、新型コロナウイルスのため司祭団、遺族のみで執り行われた。

5月6日・7日には札幌教区カトリックセンター（札幌市中央区北一条東6丁目10）にて弔問の時間をとり、多くの信徒・修道者・一般の方々が弔問に訪れ、別れを惜しんだ。

故富沢孝彦司教より引き継ぎ、札幌教区を支え導いた地主司教は、日本のカトリック教会のために教会行政法制整備、典礼刷新などに尽力を注ぎ、札幌教区においても学校法人や社会福祉法人において重責を務め福音宣教のために自らが先陣に立ち導かれた。

なお、ご遺骨は納骨式（9月26日を予定）まで札幌教区カトリックセンター地下納骨堂・クリプト札幌に安置されており、自由に墓参することができるようになっている。

### 故・場崎洋師納骨式

去る6月5日（土）晴天の中、白石共同墓地（札幌市白石区平和通10丁目北）にてシエナのベルナルディーノ場崎洋神父の納骨式（司式：松村繁彦神父）が執り行われた。コロナ禍のため数名の司祭団と助祭、ご遺族を含め20名ほどで永遠の安息を祈った。

式の中で松村神父は「徹底的に弱い者の立場に立ち、生涯働かれた場崎神父様の姿は札幌教区にとつての宝です。その遺産を埋もらさず、私たちの財産として生かしていくことを改めて心に留めたい。」と語った。改めて場崎神父のために永遠の安息をお祈りください。



## 2021年度 札幌教区内の司祭/男性修道者 担当・所属一覧

2021年5月1日現在

(動)(新)は2021年4月に異動・担当変更あり

氏名	担当小教区・修道院・所属等	氏名	担当小教区・修道院・所属等
<b>札幌教区</b>		<b>フランシスコ会</b>	
勝谷 太治 司教	カトリック札幌司教館	ドミニコ・パウア	旭川フランシスコ修道院
久野 勉 (動)	花川協力 (前:手稲・花川協力)	アゴステイーノ・ラザロ	釧路地区協力
近藤 光彦	山鼻、真駒内協力	ヒラリオ・シュミット	富良野
谷内 武雄	療養	ルカ・ボナヴィゴ (動)	北11条、北26条協力 (前:北11条担任)
久保寺 緑郎	北広島、恵庭、千歳協力	ナルチゾ・カバツォラ	砂川、美瑛
千徳 康雄 (動)	新田協力 (前:新田主任代行)	マンフレド・フレードリッヒ	滝川
小林 薫 (動)	苫小牧、静内 (前:室蘭・伊達)	渡辺 義行	釧路地区協力
今田 玄五	稚内、枝幸	長尾 俊宏	神居、五条、六条、大町
後藤 義信 (動)	月寒 (前:小野幌・大麻・江別)	中村 道生	神居、五条、六条、大町 担任
新海 雅典 (動)	札幌地区協力 (前:苫小牧・静内)	川上 剛	北見 (美幌)、網走、遠軽、紋別
上杉 昌弘	北見 (美幌)、網走、遠軽、紋別	山本 孝	旭川地区協力
祐川 郁生	元町、宮前町、江差	鈴木 央	療養中
森田 健児	札幌地区協力	湯澤 民夫 (動)	北11条、北26条、花川 (前:北一条・北11条・北26条主任)
加藤 鐵男	円山、山鼻、真駒内	内藤 孝文	釧路 (厚岸)、中標津、根室
佐藤 謙一 (動)	手稲、小樽、倶知安 (前:手稲・花川主任代行・教区事務局)	間野 正孝	名寄、士別、留萌、羽幌
佐久間 力	北広島、恵庭、千歳	山谷 篤	北11条協力
養島 克哉 (動)	室蘭、伊達、東室蘭、登別担任 (前:小野幌・大麻・江別担任)	レイナルド・レガヤダ (動)	北一条、北11条協力 (前:北一条・北11条・北26条協力)
桶田 達也 (新・終身助祭)	小野幌、大麻、江別担当担任 (新:叙階)	ウルバン・サワビエ (動)	北11条、北26条、花川協力 (前:北一条・北11条・北26条協力)
<b>大阪大司教区</b>		アルフォンソ・ブボ (新)	釧路地区 協力 (新:来道)
松村 繁彦 (動)	北1条、新田、若見沢、都区事務局 (前:北一条・北11条・北26条主任)	曾根 正吉 (修)	旭川フランシスコ修道院
<b>議政府教区</b>		切江 一郎 (修)	光明社
バクゼソク 朴 宰 爽 (動)	小野幌、大麻、江別 (前:手稲、小樽、倶知安)	チャン・タン・ラム (動)	北11条、北26条、花川協力 (前:北11条協力)
<b>ソウル大司教区</b>		<b>厳律シトー会</b>	
イウォンギュ 李 源 圭	トラビステヌ チャブレン	坂本 耕一	トラビスト修道院
<b>パリ外国宣教会</b>		野口 高義	トラビスト修道院
オール・フランソワ・ザビエ	帯広、柏林台、池田、本別	斉藤 颯	トラビスト修道院
リッターハウス・フィリップ	湯川、八雲	吉元 邦彦	当別、トラビスト修道院
<b>メリノール宣教会</b>		横内 弘	トラビスト修道院
ライヤ・フランシス (動)	室蘭、伊達、東室蘭、登別	藤沢 正之 (修)	トラビスト修道院
スレイマン・ケネス (動)	札幌地区協力	井出 誠 (修)	トラビスト修道院
<b>神言会</b>		森本 哲生 (修)	トラビスト修道院
マルクス・ハンス・ユージェン	慶女子大学学長	中尾 平八郎 (修)	トラビスト修道院
<b>ラ・サール会</b>		小沢 重良 (修)	トラビスト修道院
マルチネス・フェルミン (修)	函館ラ・サール理事長 函館修道院	田川 晴彦 (修)	トラビスト修道院
テレビニョ・ロドリゴ (修)	函館修道院長 函館ラ・サール校長	田中 寅男 (修)	トラビスト修道院
<b>マリア会</b>		山田 裕於 (修)	トラビスト修道院
富来 正博	札幌光星	<b>マリア会</b>	
山崎 政利	札幌光星	富来 正博	札幌光星
中木 熊男 (修)	札幌光星	山崎 政利	札幌光星
<b>教区外へ</b>		中木 熊男 (修)	札幌光星
なし			

\* 神学生は記載せず  
\* 女子修道会は多数の為記載せず

\* (修)は修道士

教会名	信徒数			異動					
	男	女	合計	転入	転出	幼児洗礼	成人洗礼	死者	求道者
1 岩見沢	111	154	265	0	2	1	1	5	1
2 恵庭	48	54	102	0	0	0	0	3	0
3 江別	57	77	134	0	1	0	2	1	2
4 大麻	90	141	231	0	5	0	0	1	0
5 北1条	290	477	767	11	8	1	2	7	13
6 北11条	686	1,182	1,868	19	8	3	5	22	8
7 北26条	265	420	685	4	3	0	2	9	2
8 北広島	178	282	460	5	17	1	4	11	3
9 倶知安	27	46	73	0	0	0	1	1	0
10 小野幌	208	334	542	5	1	1	0	8	3
11 新田	55	75	130	1	1	0	2	4	0
12 小樽	78	233	311	0	5	0	2	7	1
富岡聖堂									
13 千歳	60	129	189	3	1	0	0	0	1
14 月寒	228	392	620	3	1	0	4	14	1
15 手稲	174	271	445	1	0	0	3	8	0
16 花川	74	119	193	0	0	0	2	2	2
17 真駒内	217	354	571	2	1	1	3	10	0
18 円山	362	635	997	10	10	1	9	13	2
19 山鼻	299	464	763	8	1	0	2	14	3
<b>札幌地区計</b>	<b>3,507</b>	<b>5,839</b>	<b>9,346</b>	<b>72</b>	<b>65</b>	<b>9</b>	<b>44</b>	<b>140</b>	<b>42</b>
20 江差	2	13	15	2	3	0	0	0	0
21 当別	65	78	143	0	0	0	1	3	0
22 宮前町	255	401	656	5	3	1	1	12	1
23 元町	83	157	240	1	3	0	0	6	4
24 八雲	24	50	74	0	4	0	0	0	0
25 湯ノ川	212	354	566	0	5	0	2	4	0
<b>函館地区計</b>	<b>641</b>	<b>1,053</b>	<b>1,694</b>	<b>8</b>	<b>18</b>	<b>1</b>	<b>4</b>	<b>25</b>	<b>5</b>
26 網走	27	28	55	0	0	0	0	0	4
27 遠軽	13	17	30	0	0	0	1	0	3
28 北見	89	174	263	3	1	0	2	4	9
美幌(巡)									
29 紋別	6	6	12	0	0	0	1	0	4
<b>北見地区計</b>	<b>135</b>	<b>225</b>	<b>360</b>	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>20</b>
30 旭川五条	109	177	286	4	0	0	6	6	0
31 旭川六条	99	159	258	1	0	0	3	6	4
32 枝幸	9	7	16	0	0	0	0	0	0
33 大町	62	124	186	1	2	1	0	5	0
34 神居	42	65	107	2	0	0	2	2	0
35 士別	20	25	45	0	0	0	0	0	0
36 砂川	21	44	65	0	0	0	0	0	8
37 滝川	46	70	116	1	0	0	0	0	4
38 名寄	29	59	88	3	1	0	3	0	2
39 羽幌	10	17	27	1	0	0	2	0	0
40 美唄	16	45	61	2	0	0	2	3	8
41 富良野	29	50	79	0	0	0	0	0	2
42 留萌	58	99	157	0	1	0	0	3	5
43 稚内	41	44	85	0	0	0	0	2	0
<b>旭川地区計</b>	<b>591</b>	<b>885</b>	<b>1,576</b>	<b>15</b>	<b>4</b>	<b>1</b>	<b>18</b>	<b>27</b>	<b>33</b>

教会名	信徒数			異動					
	男	女	合計	転入	転出	幼児洗礼	成人洗礼	死者	求道者
44 池田	19	34	53	0	0	0	0	1	0
45 帯広	159	231	390	2	2	0	4	4	0
46 釧路	241	363	604	2	7	0	0	3	2
新川集会所									
厚岸(巡)									
47 中標津	58	102	160	1	0	0	0	0	0
48 根室	7	22	29	0	0	0	0	2	2
49 柏台	79	124	203	0	1	0	0	1	0
50 本別	3	6	9	0	0	0	0	0	1
<b>釧路地区計</b>	<b>566</b>	<b>882</b>	<b>1,448</b>	<b>5</b>	<b>10</b>	<b>0</b>	<b>4</b>	<b>11</b>	<b>5</b>
51 苫小牧	239	353	592	0	1	0	3	5	2
52 静内	19	23	42	0	1	0	0	1	1
53 伊達	53	99	152	0	0	0	2	2	1
54 登別	33	40	73	1	0	0	1	3	0
55 東室蘭	45	93	138	0	8	0	1	2	1
56 室蘭	48	82	130	0	2	0	0	5	0
<b>苫小牧地区計</b>	<b>437</b>	<b>690</b>	<b>1,127</b>	<b>1</b>	<b>12</b>	<b>0</b>	<b>7</b>	<b>18</b>	<b>5</b>
<b>合計</b>	<b>5,877</b>	<b>9,674</b>	<b>15,551</b>	<b>104</b>	<b>110</b>	<b>11</b>	<b>81</b>	<b>225</b>	<b>110</b>

### 2020年 カトリック札幌司教区教勢報告

2020年1月1日～12月31日

教区総面積	78,422 km <sup>2</sup>	( ) 内は2014年末の数字
教区総人口	5,229,075 人	[2020年12月31日現在の人口]
在籍信徒数	15,551 人	( 15,651 ) 人
教役者合計	317 人	( 327 ) 人
信者総数	15,868 人	( 15,987 ) 人
求道者数	110 人	( 115 ) 人
洗礼者数	92 人	( 138 ) 人
初聖体	52 人	( 60 ) 人
堅信	62 人	( 92 ) 人
居所不明	1,390 人	( 1,097 ) 人
死者	225 人	( 209 ) 人
婚姻件数	12 件	( 36 ) 人
信徒同士	2 件	( 5 ) 人
信徒と他キリスト教	0 件	( 6 ) 人
信徒と非キリスト教	9 件	( 22 ) 人
他宗教同士	1 件	( 3 ) 人

※ 教会現勢報告にご協力いただきましてありがとうございました。

### 小教区で大いに活用を！ カリタス家庭支援センター発行

## 「困りごと事例&福祉情報小冊子」



カリタス家庭支援センター(2021年3月末)閉所あたり、教会を訪れる困難を抱えた方々に小教区として寄り添いが継続できるように、「困りごと事例&福祉情報小冊子」を発行しました。構成において考慮したのは、「教会」という特殊な場であるからこそ寄せられる相談があるのではないかと、金銭や生活のあらゆる面において救いを求めやってくる例はセンタ―において多くみられました。小冊子では、「金銭」「病気や生きづらさ」「高齢」の3つの観点に分けて対応例をまとめました。社会資源が掲載されている反貧困ネットワーク北海道作成の「生活支援ガイド」と併せ、関わりのヒントにして頂ければと思います。

小教区をはじめ多くの信徒の方々に支えられセンターの活動ができましたことを感謝致します。ありがとうございます。

(梅原公子・岡田惟央)

全道司祭大会開催される

2021年6月15日14時から全道司祭大会が開催された。例年は2泊3日程度でホテルや研修施設で全道の司祭が集い、報告や研修、親睦会などを通して司祭の交流の場としていた。新型コロナウイルス感染が拡大していた昨年はまだリモートなどの技術が確立されていかなかったため中止となったが、今年と同じ場所に集まらずに1日のみのリモート研修として25人ほどの司祭、助祭が参加し開催することができた。

研修のテーマは「教会の使命と新しい宣教司牧―『ラウダート・シ』からの提案」で講師として菊地功大司教、成井大介司教がお話をされた。菊地大司教(東京大司教区・カリタスジャパン責任司教)は「ラウダート・シ」に学ぶわたしたちの生きる道」というテーマで全体的で包括的なお話をされた。「わたしたち皆がともに暮らす家」であるわたしたちの地球を「無責任な濫用」や「支配者・所有者という思い込み」がこの地球を破壊していくのだと説明され、教皇フランシスコは「人類が生きていくうえで、すべての課題を含んでいることを明確にすること、皆がともに暮



教会の使命と新しい福音宣教

ラウダート・シからの提案



らす家」を大切にすることを呼びかけている」と解説された。成井司教(新潟司教区・カリタスジャパン担当司教)は2点に絞ってお話をされた。まず初めに「ラウダート・シ・アクション・プラットフォーム」について説明され、次に具体的に海外での経験をもとに「カトリック教会による国際的な取り組みと小教区における取り組み例」を紹介された。ラウダート・シ・アクション・プラットフォームとは、持続可能な世界のために様々な方法で7年間の歩みで取り組むことやすべての人への呼びかけ、特に、家族、小教区と教区、学校と大

学、病院、農業、組織や活動団体、修道会の七つのグループに対して呼びかける取り組みである。今年の10月に具体的な計画や資料発表されることが説明された。小教区における取り組みとして「緑の教会」を目指すインドネシアのジャカルタにある聖ヨゼフ教会が紹介された。具体的なお取り組みとしてゴミの分別、教会と近隣の清掃、低所得の高齢者支援、教会の



最後に各地区からの近況報告などを行い、それぞれの地区での宣教司牧の取り組みについて分かち合いを行い閉会となった。この研修から学ばれたそれぞれの司祭が「ラウダート・シ・アクション・プラットフォーム」と連携して、各地区、各小教区で信徒・修道者の皆さんにお伝えしてともに実践していくことができるよう願う。

(運営委員長) 佐藤謙一

2021年に司祭叙階  
ダイヤモンド祝・金祝を迎える  
司祭を紹介します。

ダイヤモンド祝



1961年3月21日叙階  
トマス・アクイナス  
近藤光彦師  
1929年4月2日生 92歳  
札幌教区司祭  
現在も山鼻・真駒内教会の協力司祭として今なお現役でお働きくださっています。



1961年3月21日叙階  
アシジのフランシスコ  
谷内武雄師  
1931年1月27日生 90歳  
札幌教区司祭  
現在は月形の藤の園で療養中、岩見沢の病院へ週3回の透析に通っています。

金祝



1971年11月3日叙階  
使徒ヨハネ  
小林薫師  
1941年2月7日生 80歳  
札幌教区司祭  
今年4月より、室蘭・伊達教会より苦小牧・静内の担当に代わり、势力的にお働きくださっています。



1971年3月13日叙階  
ヘルマン  
渡辺義行師  
1935年4月30日生 86歳  
フランシスコ会司祭  
現在は釧路アントニオ修道院に居住、健康に留意されながら釧路地区の協力司祭としてお働きになっています。

これからの神父様のご健康と司祭職の働きの上に神様の恵みがありますようお願いください。

緑化などが紹介された。自分が残したい地球を、人々とともに作っていくこと、若い世代との協力がラウダート・シのゴールに向けて大切なのだという言葉が印象に残った。最後に、5月25日の教皇メッセージで締めくくられた。「希望があります。皆がそれぞれの文化や経験、取り組みや才能を生かして協力することで、わたしたちの母なる地球はその元々の美しさを取り戻し、被造物は神が計画されたとおりに輝くようになるでしょう。神の祝福が皆さんの上にありますように。神が、わたしたちの共通の家を建て直すという皆さんの使命を祝福してください。ありがとうございます。」

# 雪の聖母園グループの2事業 百年に向けて新たなスタート

理事長 上杉昌弘

雪の聖母園は、創立者木内藤三郎神父様が、青年信徒達と祈りと労働を捧げて文字通り原野を開拓して地をならし、土台を据え、屋台を組んで屋根をふき、子らと呼ばれて集めて始まりました。天寿を全うさせたい、子らが神の使いであること、その尊い存在の意味を示す願いであったと聞いています。神の国を見る形で世に示すことでもあったでしょう。1964年のことでした。3年後に夕張市に、5年後に静内町にメリノール宣教会が障がい者施設と乳児院を開設し、社会福祉法人雪の聖母園へと移管され、神の愛を行う志を共にし、互いに支え合いながら今日に至っています。法人理事長は木内師の後、富沢司教、地主司教が歴任し、カトリック札幌司教区運営の施設であることを自ずと表してきました。勝谷司教は時代の要請を鑑みて、他の代表職をいくつも務める司教が兼務することは適切ではないと判断され、理事会互選での理事長決定に委ねました(私も理事の一人でした)。

理事を選ぶ評議員と理事は地元の方が多く、幼少の頃より雪の聖母園に馴染んだ方々もいて木内師の理想を尊重し信頼してくださっています。この度、月形町からは町の保育所型こども園「花の里」の指定管理(運営)を任せられました。また夕張清水沢の施設は建物老朽化と利用者さんの高齢化に対処したグループホーム型建物と態勢が新たに始まりました。同時に生活困窮者自立支援・生活保護受給者就労支援・子ども家庭総合支援の各事業を市から託されて、いっそう公益性のある活動に職員の方々の懸命なお働きの上に進めていきたいと思

います。2014年に50周年を祝った雪の聖母園は、創立者の志を忘れずにありたいと思います。3市町からの温かい配慮を受け、隣人皆様のご協力と親切のうちに、法人や各施設の発展ではなく、利用者さんとその家族、また日々支援にいそしむ職員の幸せのために、ゆっくりと百年に向かって歩みを続けています。お祈りください。み心のままに。

## ◆月形町認定こども園 花の里こども園

園長 豊田播子  
月形町認定こども園花の里こども園は、人口三千人余りの小さな町「月形町」の唯一の乳幼児

施設です。町から指定管理を受け運営しています。この度、令和3年4月より、社会福祉法人雪の聖母園が受託することになりました。4月1日入園・進級式には、花の里こども園の新しい理事長である上杉神父様より、子どもたちと保護者へ向けてのお話がありました。「お友達やいろいろな人に『ありがとう』という言葉を毎日言えるように、そして、お友達に何かしてしまったら『ごめんね』。『ごめんね』と言われたら『いいよ』。と言ってなかくしませうよ。子どもたちは、上杉神父様の優しくも力強い声に聞き入っていました。そして、その後も、どこからともなく「ごめんね」「いいよ」「ありがとう」の子どもたちのやり取りが聞こえてきます。

雪の聖母園のお仲間に入れていただき、花の里こども園の子どもたちも、健やかに育ち、たくさんのお話を学び、神様の愛に包まれながら成長していけるよう、皆様のお祈りに加えていただけると嬉しいですよ。

## ◆ライフネットゆうばり

管理者 中川博之

令和3年5月1日、施設入所支援から日中サービスマン型グループホームに転換した事業所「ライフネットゆうばり」がスタートしました。今回は紙面をお借りして、事業転換の経緯と新事業所の紹介をさせていただきます。旧しみずさわ入所事業所の建物は昭和40年代前半に木造モルタル一部ブロック造りで建てられその後増築を重ねたもので、築50年を経過し暖房や給水など利用者の基本的な生活に必要な設備に欠けても老朽化が顕著になってきました。利用者も居室も二人部屋が標準となっており、高齢化や障がいの多様化などによる個別支援ニーズの増加により、居住に関しては個室対応の必要性が大きく対策が急務となっていました。そこで法人では建設委員会を立ち上げて検討を重ね、平成30年度の改正で新たに制度化された、日中活動と夜間支援をトータルに支援することを目的としたグループホームへと転換することとし、この度無事に事業所竣工、利用者入居となりました。定員20名のグループホームは10名の2ユニットで完全個室、床暖房と冷暖房を整備しました。浴室も介助の必要な方用と個人で利用したい方用に分け洗面所とトイレも人間関係などを考慮し各ユニットに3ヶ所設置しました。夕張市は財政破綻以来人口の減少が著しく、高齢の親と障害のあるその子供の家庭が困窮する「80・50問題」など在宅ニーズも増加しています。事業所では行政などと連携し、在宅の障がい者ご本人を通所サービスマン等の利用に繋げるだけではなく、制度・サービスマンの枠を超えてご家族への支援も行ってまいりました。新事業所では常設のショートステイ床もあり、既存の日中活動のメニューも含めて地域のニーズに幅広く応えることが出来るものと考えています。工事経過や内覧動画を法人のホームページやフェイスブックで公開していますので、是非ご覧いただければと思います。



園長 豊田播子  
上: 花の里こども園  
中: ライフネットゆうばり  
下左: 同上  
下右: 同上



園長 豊田播子  
上: 花の里こども園  
中: ライフネットゆうばり  
下左: 同上  
下右: 同上

**谷大二名司教  
平和講演会を終えて  
許されない沖縄南部土砂を  
使った埋め立て**

「沖縄慰霊の日」を間近に控えた6月12日、「沖縄―北海道司教とともに基地を考える」をテーマに札幌教区正義と平和協議会(以下「札幌教区正平協」)主催で平和講演会を開催しました。沖縄・北海道がともに「緊急事態宣言」下にあったため、谷大二名司教の来道はかなわず、残念ながら沖縄市からのオンライン講演としてもたれました。冒頭、日本正平協会長の勝谷太治司教が開会あいさつ。「沖縄の心を持ち、その気持ちを代弁する形で講演に期待したい」

と述べました。

谷名司教の講演では、近世から今日までの沖縄の歴史をたどりながら、とりわけ76年前の沖縄戦の状況を、その戦いに参加された方の体験も交えながら詳しく報告。投降を厳しく禁止されたため多くの兵と住民が死に追いやられたこと、生き残った方が未だ罪悪感に苦しんでいること、沖縄戦で犠牲となった兵士のうち北海道出身者が沖縄について多かつたことなど縷々(る)語られました。



1. 処刑場は遺骨が眠る土砂を辺野古埋立に使う計画を断せよ  
2. 遺骨は米海軍の墓山開発に中止命令を  
3. 遺骨を守るために条例制定を

講演ではさらに、沖縄は本土復帰後も多くの米軍基地が残されただけでなく、自衛隊基地が次々と建設され、日常化する基地被害に対して捜査権・裁判権がなく、制空権も米軍に握られていること、すべての選挙で反基地派が勝利し民意が明白に示されているにもかかわらず、日米両政府がこれを黙殺して辺野古基地建設をすすめていることの不当性を告発。また、遺骨が多く残され今もその収集が行われている沖縄南部の土砂を辺野古基地の埋め立てに使うとして、いることにふれ、それは死者を冒とくするものであるばかりか、刑法で罰せられる「死体遺棄罪」にあたる指摘。この問題で防衛大臣交渉に参加した戦死者の孫にあたる女性の「祖父はまだ南部の土地、沖縄に生きています。土砂を海に捨てることはさらなる死を意味する。一方で、祖父もその一員であった日本軍が住民

を守らなかつたことを考えると、それがつらい」との発言を紹介しました。谷名司教は参加者に、遺骨収集をすすめている具志堅隆松さんらの抗議のハンガーストライキや、沖縄県議会・市町村議会の反対決議に呼応し、北海道でも議会決議に取り組んでほしいと要望、講演を終えました。

講演後の質疑の中では、座り込みを排除する機動隊員のお母さんが基地建設に反対であったり、南部の土砂を基地に運んでいる若者の祖父が「何をやっていいのか。墓に入れないぞ」と叫ぶなど家族の分断が起きていること、沖縄の教会では基地問題を自由に話し合える雰囲気になれないことなど、厳しい現実も紹介されました。

オンラインでの講演会には42名が参加。遠く沖縄や東京・茨城などから、また、札幌の中学生、高校生も参加し有意義な学びの場となりました。

札幌教区正平協では、今後、7月17日に映画「標的」上映会と植村隆さんの報告会、9月4日は岡野八代さん(同志社大学・政治学)の講演会を予定しています。

(札幌教区正平協 松永 武)

**2021 正義と平和全国集会大阪大会のお知らせ**



11月22日(月)  
14:00 開会  
14:30 分科会  
17:00 祈りの集い

11月23日(火)  
9:00 分科会続き  
14:00 ミサ  
16:00 閉会



大会事務局 QR コード

今年は分科会を全国のカトリック教会から募集、コロナ感染予防のため、それぞれの地域からオンラインで発信することになりました。

【札幌教区の取り組み】札幌教区正平協では、昨年来北海道内に大きな波紋を投げかけている「核ゴミ」についての分科会を提案しました。概要は次の通りです。

名称:知ってましたか? いま地層処分してはいけない8つの理由  
形態: ZOOM参加(札幌教区カトリックセンターor個人)  
講師:小野有五さん(北大名誉教授/カトリック小野幌教会信徒)

【全体計画・分科会の見直し】コロナ禍により全体計画・分科会とも具体的計画を見直し中です。決定次第正平協メーリングリスト等でお知らせします。

また、大会事務局のホームページでも確認出来ます。

札幌教区正平協 浅井繁

■ J P 大阪大会事務局 HP  
[http://www.osaka.catholic.jp/no\\_side/jptaikai2021.html](http://www.osaka.catholic.jp/no_side/jptaikai2021.html)  
■ 問合せ [jptaikai@osaka.catholic.jp](mailto:jptaikai@osaka.catholic.jp) Tel: 06-6942-1784

札幌市中央区北一条東6丁目  
札幌教区カトリックセンター地下

カトリック札幌司教区納骨堂

**クリプト札幌**

家族壇 568 壇  
永代料 500,000 円  
管理料 18,000 円/年

合葬壇 730 柱  
永代料 125,000 円  
管理料 3,000 円/年



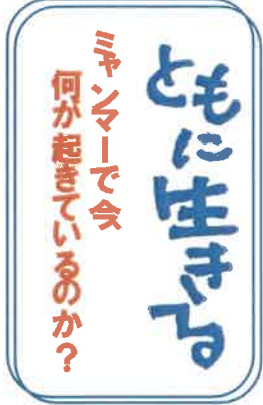
クリプト札幌管理課(札幌教区カトリックセンター2F)  
平日 9:00~17:00 電話 011-221-4244

【1. 出会い】

2月中旬、夕食を取りながらテレビを見てみると、「北海道在住ミャンマー人が大通公園と札幌駅前、ミャンマー国軍によるクーデターに対する抗議集會をした」というニュースが流れた。たくさんのミャンマー人が集まっている。しかも、技能実習生がインタビューに答えていた。それから2カ月後、知り合いから4月24日にミャンマー人による民主化支援デモが札幌で突然届いた。もちろん全く知らなかったが、デモの前日に主催者と思われるミャンマー青年たちに会うことになった。

私は彼らに初めて出会い、彼らが本場に居ても立っても居られない必死の思いから2月の抗議集會を行い、その後も商店街などでチラシを配るなどの抗議行動を続けていたことを知った。彼らの祖国に対する熱い思いと、母国にいる家族や友人の安否を心配しながら、今、起こっていることに声を上げる勇氣に触れ、彼らの声を多くの人に届けたいと思った。彼らが日本人の手を借りずに自分たちでデモ申請をしていたことにも驚いたが、何よりも北海道にいる彼らの活動が日本にいるミャンマー人だけではなく、世界にいるミャンマー人と繋がっていることに驚いた。世界の関心がミャンマーを変える！そんな彼らの思いに私は心が熱くなった。

くる彼らはとても若く、その多くが技能実習生だった。受入企業や監理団体は、彼らの思いを知っているのだろうか？今日ここに集まっているのは許可を得ているのだろうか？そんな心配は無用だった。彼らは、何が起ころうとも母国の現状を伝える覚悟で来ていたのだ。コロナ禍で、しかも緊急事態宣言下でデモをすることにに対し、異を唱える人があるのも彼らは十分わかつていた。しかし、今、この時に家族や友人が被害にあうかもしれない。



いのだ。大通公園に集まった人の中には、両親が拘束された人、17歳の弟や大切な叔父を失った人もいた。悲しみと怒りと不安と希望：複雑な気持ちで毎日を過ごしている。黙ってはいられないのだ。

【2. 未来を変えるために】

私たち支援者は、彼らの思いを伝える方法の一つとして、北海道知事への要請を行った。北海道として、日本政府に対して国民統一政府 (NUG) を認めること、ミャンマー国軍による武力・暴力の停止と拘束された民主派議員や市民の解放、国内に

おける市民の自由と人権の保護をミャンマー国軍および国際社会に働きかけることを求めること、そして、北海道に住んでいるミャンマー人に対する理解と配慮を求めた。

ミャンマーでクーデターが発生し、一番初めに頭に浮かんだのは、契約期間を終えて、帰国できない技能実習生と卒業しても帰国できない留学生の今後だった。日本政府は、彼らの背景を考慮することなく、在日ミャンマー人に対しては緊急避難措置としてコロナ禍で帰国できない人と同様に期限付きの在留を認める対応を発表した。「本国情勢が改善しない場合は更新可」として、長期の滞在を認めず、いつか帰ることを求めている。ミャンマー国軍が国を支配し続ける中、日本で抗議行動を行った人が、帰国後にどのような扱いを受けられるかは全く考慮されない。

5月中旬、日本政府が提出していた「出入国管理及び難民認定法」改正案は、名古屋入管収容施設でスリランカ人女性が多くなるという事例により多くの関心を得て、事実上廃案となった。しかし、入管収容施設への長期収容や劣悪な環境問題はそのままである。日本で国際基準に沿った人権が守られるよう、今、隣人の身に起こっていることに目を向けて欲しい。多くの人の関心が社会を変えると信じたい。

(難民移住移動者委員会 西千津)

※「ともに生きる」は今後難民移住移動者委員会コラムとして掲載予定。

カトリックセンター1階に 総合案内所開設

2018年から3年にわたり営業をしてきた La Verna (売店) が、今年1月29日をもって閉店した。

これに伴い、4月より同所に札幌教区カトリックセンター及びカトリック北一条教会(カテドラル) 総合案内所が開設された。

この総合案内所は両施設の受付窓口としての役割を果たし、更に案内所内において地域の方々も含め、小さなコミュニティの交流や活動の出発の場になることを目的としてスペースが確保されている。今後、旅行者や修学旅行生に、教区の活動・北一条教会の歴史等を知る掲示物の設置や、各地の教区報や記念誌等の閲覧ができるよう、案内所内スペースを活用することを検討している。

交流スペースは予約制とし、最大8名程度までの利用が可能。(現在はコロナ禍のため半数まで)

なお、開所時間は平日の午前9時から午後5時。利用希望者は(担当: 森山・菊地) までお問い合わせください。



訃報

◆ マリアの宣教師 フランシスコ修道会



Sr. M. コソラ子 松田 秀子

病氣療養中のところ、創成東病院にて、4月27日 午後1時14分、神様のみもとに安らかに召されました。修道生活69年、享年89歳。

【略歴】

1932年 3月 6日生まれ  
1952年 12月13日 入会  
1959年 6月13日 終生誓願

◆ 殉教者聖ゲオルギオの フランシスコ修道会



Sr. M. エメリ子 西節 今

6月11日、4時41分に月形町立病院において神様のみもとに召されました。誤嚥性肺炎のため、満88歳で神様のみもとに安らかに呼ばれました。

【略歴】

1933年 2月 5日生まれ  
1954年 8月15日 受洗  
1959年 3月31日 入会  
1962年 1月12日 初誓願  
1967年 8月12日 終生誓願  
2011年 11月23日 誓願金祝

### 北国のスターズ

## すべての人に すべてとなる シャルトル聖パウロ修道女会



始まりで、1886年(明治19年)には「聖保祿(ばう)

本年、私たちの修道会は創立325周年を迎えました。フランスの首都パリから西南方向80キロほど離れたシャルトル市郊外の小さな村、ルヴェヴィル・ラ・シュノール村で主任司祭のルイ・ショーヴェ神父様によって創立されました。

現在では世界40カ国で約4,200人余のスール(姉妹)達が教会での司牧、社会福祉、医療、教育などの活動に従事しています。

日本での宣教は、1878年(明治11年)5月28日、日本北緯使徒代理区教区長ビエール・マリ・オズーフ司教の要請に応じてSrマリ・オーギュスト、Srマリ・オネジム、Srカロリヌの3人が函館に到着した時から始まります。スールたちは早速、近隣の病人訪問を始めました。これがのちの診療所「博愛医院」の始まりです。特に、スールマリ・オネジムが発案調査した膏薬は「ガンガン寺のヴィルジン様の膏薬」と呼び親しまれて、よく効くと評判になり、遠方からも求める人がやって来るほどでした。翌年の大火で親を亡くした子どもたちを引き取って育てたのが、現在の乳児院と児童養護施設となりました。また、近隣の少女たちに編み物や刺繍などの手仕事を教えたのが学校の



△修道院でのミサ この日は寮生も参加  
▽最初のスール・マリ・オネジムのお墓参り



日本での宣教は、1878年(明治11年)5月28日、日本北緯使徒代理区教区長ビエール・マリ・オズーフ司教の要請に応じてSrマリ・オーギュスト、Srマリ・オネジム、Srカロリヌの3人が函館に到着した時から始まります。スールたちは早速、近隣の病人訪問を始めました。これがのちの診療所「博愛医院」の始まりです。特に、スールマリ・オネジムが発案調査した膏薬は「ガンガン寺のヴィルジン様の膏薬」と呼び親しまれて、よく効くと評判になり、遠方からも求める人がやって来るほどでした。翌年の大火で親を亡くした子どもたちを引き取って育てたのが、現在の乳児院と児童養護施設となりました。また、近隣の少女たちに編み物や刺繍などの手仕事を教えたのが学校の

白百合学園(東京)、湘南白百合学園(神奈川県藤沢市)、函嶺白百合学園(神奈川県箱根強羅)、八代白百合学園(熊本県八代市)。  
福祉事業としては、函館の乳児院「さゆり園」(0歳から3歳までの乳幼児のお世話)、八代の児童養護施設「八代ナザレ園」(2歳から18歳までの子供たちの養育)が続けられています。  
創立の地、元町の函館修道院は現在休館していますが、隣接の乳児院「さゆり園」では現在も乳児たちへの奉仕が続けられています。函館白百合学園中学校・高等学校がある山の手修道院には4人のスールがいます。直接学校で奉仕しているスールは一人ですが、学校と地域社会のために祈りのうちに奉仕しています。

### 新刊紹介



#### ロヨラの聖イグナチオ自叙伝

聖イグナチオ・デ・ロヨラ著  
アントニオ・エバンヘリスタ訳  
李聖一編

聖イグナチオの回心から500年！

四度の翻訳本である本書は、1966年にアントニオ・エバンヘリスタ神父が中心になって訳出した原稿が元になっている。すでに45年を経て、現在ではあまり使われなくなった言葉やわかりにくい表現を修正し、今までにない訳文を加えている。

イエズス会創立者聖イグナチオ・デ・ロヨラがパンプローナの戦いで負傷し、療養中に回心を体験してから500年を迎えた2021年、自らを常に神に向かう途上の巡礼者と意識し、迷い、悩み、行き止まりを体験しながら新たな道を切り開くイグナチオの姿は、困難の中にも神は恵みの手を差し伸べられているということ、私たちにも気づかせてくれる。

6月22日発売 定価770円  
新書判並製224頁  
発行・ドンボスコ社

### あとかたり 編集後語

マスク生活が日常化している今、この1〜2年間に生まれた赤ちゃんにとっては、世の中の間はマスクをする生き物なんだ！と

なっている。コロナが生んだ新しい常識の誕生。顔の半分が隠された人とのコミュニケーションの中、頼るのは言葉の真の強さ。マスクを否定するのも自由だが、コロナに気づかされた心に届く言葉の強さに目を留めたい。仕事や顔の表情も大切だが、胡麻化していたことも否めない。ミサの時に説教でそのことに気づかされた。真のメッセージ、言葉の持つ力は、「言は肉となつて、わたしたちの間に宿られた(ヨハネ11:14)」ものである。人類に与えられた課題に目を向けて受け止めたい。  
さて、この言葉を表現する札幌教区ニュースは、新たに広報委員長(松村繁彦神父)を中心に広報チームを作り、新たな誌面作りに取り組み始めた。福音宣教の取っ掛かりとして、また祈るための材料として札幌教区ニュースが多くの人に情報提供できればと考えている。どの地域の方も主人公となって連続的なつながりを持ち、宣教共同体として一致し、互いに支えあっている。 (広報委員長 松村繁彦)